

助 成

2009年7月

財団法人丸文研究交流財団 交流研究助成 候補者推薦要領 第13回(2009年度)

1. 趣 旨

日本国内の大学または公的研究所等の研究機関(以下、「当該研究機関」という)に海外から日本に来て研究している外国人及び日本から海外へ行く日本人研究者の交流研究、または共同研究等に参加する若手研究者の研究費等を支援助成するものです。

2. 対象技術分野

原則として以下のエレクトロニクス関連分野を助成対象とします。

集積デバイス技術・LSI システム
光エレクトロニクス
先端デバイスおよび材料
環境エネルギー・バイオエレクトロニクス

3. 助成候補者資格

上記2の対象技術分野に従事する研究者および大学院生(博士課程後期)で、以下の条件を満たす方

- 1) 2010年3月31日現在で、35才以下の方

(ただし、特別な理由がある場合は40才以下でも可)

- 2) 助成期間中(2010年4月1日から2011年3月31日まで)に、次のいずれかに該当し、本交流研究助成の必要度が高く、助成により研究進展が期待できる方

- (A) 当該研究機関が、交流研究および国際共同研究等で、海外から受入れる外国人研究者および大学院生で、以下の条件を満たす方

国際共同研究等で受入れる場合は、助成期間内に同一研究者が同一研究目的で、連続または累計で、受入期間が3ヶ月以上であり、受入元責任者の推薦を受けることが可能な方
日本国内の大学院博士課程後期に在籍している方

(ただし、特別な理由がある場合は、大学院前期課程に在籍し博士課程後期進学予定の方も可)

同一研究が複数年に跨る場合は、次年度も引き続き交流研究助成を申請できる。その場合は初年度の研究成果により次年度の助成を決定する。

過去に当財団より交流研究助成を受けた研究者も資格条件を満たせば再度申請が出来る。

- (B) 当該研究機関が、交流研究または共同研究等の目的で、海外の他の研究機関等へ派遣する日本人研究者および大学院生(博士課程後期)で、以下の条件を満たす方

共同研究等で、国外の研究機関等に派遣する場合は、助成期間内に同一研究者が同一研究目的で連続または累計で、派遣期間が3ヶ月以上であり、受入先責任者の同意があり、派遣元責任者の推薦を受けることが可能な方

海外の大学院博士課程に学位取得等の目的で派遣する場合、受入先大学院の同意があり、派遣元責任者の推薦を受けることが可能な方

4. 助成内容

- 1) 助成金総額：1,500万円
- 2) 採択件数：約12件（1件につき上限150万円）
- 3) 助成期間：原則として2010年4月1日から1年間（多少の期間変更は可）

5. 推薦手続

- (1) 推薦者：
 - 1) 大学においては、主任教授、学科長または指導教授等
 - 2) 公的研究機関においては、研究室長または研究部長等
- (2) 推薦件数：
推薦者1名につき、推薦数は1件
- (3) 推薦方法：
以下の書類を事務局あてに提出
「交流研究助成候補者推薦書」
候補者本人記載の「交流研究助成申請書」

6. 推薦依頼時期

- 2009年7月1日（水）：受付開始
2009年10月31日（土）：締め切り

7. 選考方法

助成受給者は書類審査の後12月初旬に開催される当財団の選考委員会で選考し、理事会で決定します。

- 選考委員長：榊 裕之（豊田工業大学副学長）
副委員長：堀越 佳治（早稲田大学理工学術院教授）
選考委員：浅田 邦博（東京大学教授）
選考委員：荒川 泰彦（東京大学生産技術研究所教授）
選考委員：石原 宏（東京工業大学大学院総合理工学研究科教授）
選考委員：江刺 正喜（東北大学工学研究科教授）
選考委員：権田 俊一（大阪大学名誉教授）

8. 結果の通知および助成金交付等

- (1) 結果の通知：2010年1月末まで（推薦者および本人あて）
- (2) 助成金の交付：2010年3月末まで
- (3) 贈呈式：2010年3月3日（水）

9. 成果報告

助成受給者は助成期間終了後すみやかに所定の成果報告書を提出して頂きます。

10. 推薦書等の送付先および連絡先

東京都中央区日本橋大伝馬町 8 番 1 号 丸文ダイヤビル 8 階 (〒103-0011)

財団法人丸文研究交流財団

専務理事・事務局長 丸川 章

電話 : 03-3661-1881

F A X : 03-3808-2959

URL : <http://www.marubun-zaidan.jp/>

助 成 推

交流研究助成候補者推薦書

第 13 回 (2009 年度)

年 月 日

財団法人丸文研究交流財団 御中

推薦者 役職・氏名 _____ ・ _____ 印

候補者との関係 _____

所属機関名 _____

所在地 〒 _____ ・ _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

下記の者を貴財団の交流研究助成候補者として、申請書を確認・添付の上推薦いたします。

ふりがな _____ ローマ字 _____ 国 籍 _____
氏 名 _____ (_____) _____

受入機関・学校名 _____

職名・身分 _____

所属機関所在地 〒 _____ ・ _____

TEL _____ FAX _____

交流研究区分 該当するものに 印 (a 国外から受入 b 国外へ派遣 c その他)

研究題目：

推薦理由 (紙面不足の場合は別紙を添付して下さい。)

助 成 申

交流研究助成申請書

第 13 回 (2009 年度)

年 月 日

財団法人丸文研究交流財団 御中

申請者氏名 _____ 印 国籍 _____

生年月日 _____ 年 月 日 生 (_____ 歳) 性別 男 女

所属機関及び職名 _____

(学校名・学科等) _____

所属機関所在地 〒 _____

(学校等) _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

自宅住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____

本務機関とそこにおける職名 _____

交流研究区分 該当するものに 印 (a 国外から受入 b 国外へ派遣 c その他)

1 学歴・職歴 (学位取得の時期)

2 希望助成金額 (上限 150 万円) と使途計画

使途計画の内訳概略

希望助成金額 _____ 万円 備品 _____ 万円 消耗品 _____ 万円

旅費・滞在費・その他 _____ 万円

3 本研究及び申請者に関する他の助成の受領や申請の状況・滞在研究期間・本助成の必要性

フェロ-シップ (滞在費援助)、留学支援、研究助成等現在受けているものと申請中のものの名称、
交付の額と交付期間を明記して下さい。 _____

日本での滞在期間 (外国から受入の方) 平成 年 月 ~ 平成 年 月 (_____ ケ月)

派遣先等での滞在期間 (国内から派遣の方) 平成 年 月 ~ 平成 年 月 (_____ ケ月)

複数期間派遣の方は明記下さい。 平成 年 月 ~ 平成 年 月 (_____ ケ月)

平成 年 月 ~ 平成 年 月 (_____ ケ月)

本助成の必要性 _____

4 研究の目的・特色・実績 (紙面不足の場合は別紙を添付して下さい。)

5 受入れ研究機関等での交流研究又は共同研究の内容 (具体的に記入して下さい。)

6 今後の研究計画骨子・期待される成果（予想される波及効果等。）

7 本研究に関連する申請者本人の主要論文（最近の論文を5件ほど記入して下さい。）